

『国際比較の中の地方自治と法』目次

第1章 連邦制と地方自治をめぐる法制度と実務の比較考察

〔解説〕

- I 課題の設定
- II 各国憲法規定における連邦制と地方自治
- III 憲法レベルにおける地方自治保障をめぐる最近の動向
- IV 地方自治権保障規定の系譜から見た日本国憲法における地方自治
- V 憲法的保障と地方自治実務を基準とした新分類の可能性
- VI 日本の地方自治の憲法現実
- VII 課題と展望

第2章 分権改革の法制度設計

〔解説〕

- I はじめに
- II 「中央集権」の伝統(?)から「第三の改革」へ
- III 中間報告と両勧告における地方自治の構図
- IV 歴史と国際動向からみる地方自治の法的位置づけ
- V わが国で自律・自立型社会が成立するための諸条件
- VI おわりに

第3章 新地方自治法の課題——法制度設計とその前提条件

〔解説〕

- I はじめに
- II 課題の枠組み
- III 自治体の事務と国・都道府県の関与
- IV 国——都道府県——市町村の法的紛争の解決ルール
- V 分権法システムが真に法化するための諸条件
- VI おわりに

第4章 地方自治基本法

〔解説〕

- I 問題の意味
- II これまでの議論の経過
- III 現行の各種基本法の法的性格
- IV 地方自治基本法の要否
- V 諸外国における地方自治法制のフレームワーク
- VI 地方自治基本法に盛り込むべき内容と制定手法

第5章 ドイツの自治体連合組織

〔解説〕

- I はじめに
- II ドイツの地方自治制度
- III 自治体連合組織の概要
- IV 自治体連合組織の運営
- V ニーダーザクセン州市町村連盟の組織と活動
- VI おわりに

第6章 プロイセン=ドイツ地方自治法理論研究序説

〔解説〕

- I はじめに
- II 19世紀前半の地方警察法制
- III 19世紀前半の学説の検討
- IV 三月革命期における地方警察権
- V 「ゲマインデ=社会」論の誕生
- VI プロイセン議会における「国家」権力=官権的権力論
- VII プロイセン=ドイツ国家——ゲマインデ関係の成立
- VIII おわりに

以上